

令和6年度 岡山市子ども・子育て会議 第2回就学前教育・保育部会（議事録／要約）

日時：令和6年8月27日（火）午後3時11分～午後3時41分

場所：岡山市勤労者福祉センター5階体育集会室

#### 【開会】

- 保育・幼児教育部長挨拶
- 部会長挨拶
- 成立確認・・・委員13名中10名出席にて定足数を充足し、成立を確認。

#### 【議事】

議事進行は部会長

#### 議題（1）教育・保育の量の見込みについて

〔事務局から資料に沿って説明〕

- 部会長 委員からご意見、ご質問等はないか。
- 委員 保育士確保策も並行して行ってほしい。保育士の配置基準も見直されており、こども誰でも通園制度が令和8年度から本格的な導入になるので、さらなる保育士の確保が必要になってくる。
- 事務局 これまで保育園の待機児童の解消のために、保育士確保策をしっかりとってきていただいていた。待機児童自体は解消にはなったが、引き続き保育の質等の担保をしていくためにも、保育士確保というのは重要だと思っている。また、こども誰でも通園制度のような新たな制度等も今後出てくるため、引き続き保育士確保策について、しっかり頑張っていきたい。
- 委員 年度途中入園が難しいという声をきく。前回、瀬戸内市の入園予約についてお話したが、この資料にある量の見込みは育休明けや途中入園まで踏まえているのか。途中入園がしにくいと、働けなくなり、貧困へつながってくると思う。
- 事務局 資料1の量の見込みの考え方ですが、保育を必要とする方の数であり、特に0歳児は出生により年度内にかけて増加することを勘案して推計しており、必要な数字を計上させていただいている。

○事務局 瀬戸内市の取り組みについて、例えば育児休業からの復帰で4月入園を希望している方と8月入園を希望している方が、4月の申込で同時に出してきて、点数が高ければ8月入園の方を優先するため、4月入園の方は入れない一方で、施設は8月まで定員を空けたまま待つていただくため、施設には市からお金を出す対応をしているとお聞きをしている。岡山市では、未入園児がこの4月に692人出ている中で、途中入園の予約制は4月に入りたい方が入れず、効率的な受け入れができない課題があり、難しいと考えている。なお、毎月受入れ見込みを出ささせていただいており、保護者の方には空き状況を参考に希望園を検討していただき、岡山市もコンシェルジュからアドバイスをさせていただきながら対策をしており、ご理解いただきたい。

○部会長 岡山市としての他の何か対策があれば。

○事務局 繰り返しにはなるが、受入れ見込みを毎月出しており、できるだけ多くの方に入園していただけるよう、コンシェルジュが丁寧に案内をさせていただいているところである。

○事務局 補足になるが、全体としては未入園児はいるものの待機児童はゼロになっており、これから新しい施設を造るとするのは難しいが、特定の地域や1、2歳が入りにくいという声を我々も聞いている。今後、病児保育等々、障害児保育の受入れ等の質全体についての拡充や1、2歳の方や未入園が集中しているような地区については、利用される方のニーズに合った形で確保していきたい。

○委員 1歳、2歳が入りにくいという話だが、4月、5月は保育士の確保はされているが、途中で保育士が出産を迎えたり、心に病を持ってお休みを始めてしまうというようなケースもあり、現場の保育士が不足してくる。そういったときに途中での受入れが困難になってきていると聞いている。そのためにも保育士を確保しないと受入れができないので、そういったこともあることをご理解いただきたいと思う。

○部会長 産休・育休とか病休の方への補充対応はどうか。

○事務局 産休・育休の代替職員の配置の補助金を用意している。一方、病休については、なかなかそこまで用意できていない。どうしても急な要因で職場を離脱されるようなケースというのは、発生し得るお話。現場は現場で対応できる限りの対応はしてくださっていると我々も認識をしており、引き続きご理解いただければと思う。

- 委員 教育・保育の量の見込みについてですが、全体では十分足りているということだが、それぞれの提供区域ごとに凸凹はないのか。
- 事務局 提供区域ごとに人口も需要も違い、また提供される保育の受け皿数も異なるため、凸凹はある状況。今回は全体をお示ししているが、11月に素案をお見せするときには各提供区域ごとのデータもお示しする予定である。
- 委員 提供体制の確保について、この文末にある「定員確保に努める」というのが、子どもが入れるようにしますよという意味と捉えていいのかということと、「可能な範囲で市立園の定員の見直しを行う」ということは、定員を少なくするという理解で合っているか。
- 事務局 1点目の定員確保に努めるというのは、未入園児が多く発生している1、2歳児についてはできるだけ多くの方に入園していただけるよう、定員を少しでも増やすよう努めるということ。2つ目の公立園の定員の見直しを行うということについては、過剰にならないように定員の減を見据えて定員全体を見直すとお読みいただきたい。
- 委員 東区のこども園とか幼稚園に入れなくて、南区ならありますと言われても、南区に行くことはまずないと思う。定員管理は重要なので11月にお示しいただけるものを見ながら、またご議論をさせていただければと思う。
- 事務局 提供区域の中だけで需要と供給を完結するのは難しい。例えば、区を越えるが通勤途上にあり通園可能というケースもある。コンシェルジュも、ご自宅から職場の間で無理なく通える施設をご紹介させていただいており、計画も実態を見据えながら作業を進めている。
- 部会長 11月には詳しいものをお願いする。

## **議題（2）その他**

- 部会長 その他、何かこの部会の中でご発言等ありましたらお願いする。  
(特に発言無し)
- 部会長 無いようなので、本日のこの部会で予定しておりました案件は終了とする。

**閉会**